

歴博 暮らしの植物苑だより

観察会 100 回記念 7月 28 日 (土) 13:30~ 観察会先着 200 名様にプレゼント
「市民のための暮らしの植物苑」 辻 誠一郎 (東京大学大学院)

第 101 回暮らしの植物苑観察会 8月 25 日 (土) 10:00~
「変化朝顔の世界」 仁田坂英二 (九州大学大学院)

今週の見どころ <http://www.rekihaku.ac.jp>



—江戸を咲かす— 伝統の朝顔

7月 24 日 (火) から 9月 2 日 (日) まで 暮らしの植物苑にて開催

7月 24 日 (火) 10:00~内覧会 参加は自由です。

内覧会終了後朝顔の苗の有償頒布があります。

8月 25 日 (土) は 10:00 から「変化朝顔の世界」 仁田坂英二 (九州大学大学院)
の観察会があります。

会期中の 8月 21 日 (火) ~26 日 (日) は 8:00 開苑になります。

8月 13 日 (月) は開苑いたします。



よしず展示



あずま屋の展示

会期中の午前中は栽培担当者による、解説を行っています。

ジュンサイ (スイレン科ジュンサイ属)

池や沼に生育する多年草の水草で、茎や葉柄、新芽などは粘質物におおわれる。花は紫色で、がく片、花弁とも 3 枚あります。果実は袋果で裂開はしません、最近では栽培されたものが市場に出回っています。



オオヤエクチナシ (アカネ科クチナシ属)

クチナシの園芸品種で、古くから栽培されています。クチナシよりも大型で、香りも強く、ガの1種のオオスカシバが好んで付き食害されます。苑内にはクチナシ、小型のヤエコクチナシがあります。



ラッカセイ (マメ科ラッカセイ属)

子実を食用、搾油原料として利用する。枝が横に這う匍匐(ほふく)性と、立ち上がる立性とがあります。花は葉のつけ根に咲きます。おもに自家受粉し、開花後5日目ころから花の基部が地面に向かって伸びていきます。



テッポウユリ (ユリ科ユリ属)

花形がらっぱ銃に似ているので、その名があります。純白でほのかな芳香があります。クリスマスや冠婚葬祭にはなくてはならない花です。



ミソハギ (ミソハギ科ミソハギ属)

湿地に生え多年草で、全体に毛がなく、直立し、上部で枝分かれをします。盂蘭盆会の仏事に用いる風習があります。

ハンゲショウ (ドクダミ科ハンゲショウ属)

水辺や湿地に群生する多年草。茎の上部の葉の下半分が白色になっていてよく目立ちます。名前は夏至から11日目の半夏至の頃に咲くから、この葉色から半化粧というなどの説があります。

